

みやぎのだより

No. 138

みやぎの酪農農業協同組合広報誌

令和6年1月25日



婦人部本吉支部研修会

CONTENTS

新年のご挨拶.....	1	初乳給与と寒冷対策について.....	7
婦人部仙南支部講習会の開催.....	3	牛乳・乳製品を利用したレシピ紹介 ～じゃがいものチーズ焼き～.....	9
フラワーアレンジメント教室の開催.....	3	令和5年度 生乳生産実績.....	10
黒川支部研修会の開催.....	4	人事のお知らせ.....	10
「第3回牛乳ひげスマイルコンテスト」の 実施について.....	4	理事会通信.....	10
2024年度・2025年度 ミルクキャンペーンキャラクター決定.....	5	売りたいし、買いたいし.....	11
飼料情勢.....	6	編集後記.....	11

新年のご挨拶



みやぎの酪農農業協同組合
代表理事組合長

伊藤 一成

組合員の皆さま、あけましておめでとうございます。

謹んで新春のごあいさつを申し上げます。

令和6年の年頭にあたり、組合員の皆さまから旧年中に賜りましたご支援、ご協力に対し厚くお礼を申し上げます。

昨年も全国規模での地震や台風などの自然災害や、記録的な猛暑となったことから甚大な農業被害が発生いたしました。被害に遭われた皆さまに心からお見舞い申し上げます。

昨年は時代が大きく反転を始め、アメリカや日本の経済が復調する一方、ロシアが仕掛けたウクライナ戦争の反転の兆しが見え始めたそんな時、中東のパレスチナで新たな戦争が始まる中、中国経済の歴史的な後退で、世界はいま、新たな「ポスト・チャイナ」の時代に移行し始め、時代の振り子が大きく揺り戻しの兆候を感じた一年でした。

また酪農生産現場では、ウクライナ問題や円安の進行により配合飼料や流通粗飼料の価格は高止まり、副産物価格の下落など、かつて経験したことのない困難に直面しており、離農の加速が懸念されております。

このような中、当組合は「組合員の営農・生活の安定・向上をはかることが協同組合の目的であり、事業運営上組合員の利益を念頭におき運営することが全てである」との考えのもと、令和5年度事業計画の基本目標に「安全・安心な生乳の提供と地域酪農の振興」、「組合員のニーズに応える営農・経済事業運営の強化」及び「経営の健全性の取組み強化」の三つの柱を掲げ、取り組んでおります。組合員の皆さまの営農継続と地域酪農の振興が私どもの存在意義であり、協同組合の使命であります。



わが国の酪農経営は飼料・燃料等の価格高騰の中で、海外に依存した生産構造を見直すときにきており、国内の飼料資源を有効利用するなどして、生乳の安定生産が続けられる環境の整備をしていく必要があります。さらに、酪農乳業界では乳価、市乳販売価格、生乳需給といった課題を一体的に解決することが求められており、酪農をめぐる最大の危機は、新たな需給調整の仕組みを提起して議論していこうとする主体がないことのように思います。そのためにも「実効性のある生乳需給調整対策の構築」や牛乳乳製品の持つ価値と現状における酪農経営の窮状を訴えながら「新たな乳価形成の仕組みの構築」など、より良い酪農経営の環境をつくり、後継者が目指すことのできる魅力ある酪農経営に転換していかなければならないと考えております。

激変する国内外の情勢などにより様々な課題が山積しておりますが、組合員の皆さまの目線に立ち、環境の変化に柔軟に対応しながらその課題解決の実現に向け最善を尽くしたうえで、「なくてはならない、みやぎの酪農協」となり、次の世代へつないでまいります。

最後になりますが、本年も引き続きご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆さまのご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。



婦人部仙南支部講習会の開催

指導課

11月8日(水)に大河原町の「えずこホール(仙南芸術文化センター)」にて子牛哺育管理講習会を開催しました。コロナ禍後、約4年ぶりとなる講習会に役員一同、心を引き締めて準備を行ってきました。

講師に全酪連購買畜産課の佐藤晃一さんをお招きし、事前に婦人部の皆さんから集めたアンケートを基に子牛の哺育に関する講習をしていただきました。

20名程が講習会に参加され、参加者にとって有意義な時間を過ごせたと感じられました。



▲ 子牛哺育管理講習会の様子

フラワーアレンジメント教室の開催

指導課

婦人部本吉支部活動の一環として、12月26日(火)に南三陸町の「小野花匠園」にて、フラワーアレンジメント教室を開催しました。

4年ぶりの開催ともあり、生ける感覚を取り戻しながら、お正月にぴったりの縁起の良い「松」、「mam」、「葉ボタン」などを生け、お互いに生けた花を鑑賞するなど交流を図り、有意義な活動となりました。



▲ フラワーアレンジメント教室の様子

黒川支部研修会の開催

指導課

黒川支部では、12月7日(木)に大和町の「供味」を会場に、伊藤組合長を迎え酪農情勢について部員との意見が交わされました。

また、研修会の開催は4年ぶりということもあり、部員同士の交流も深められ有意義な時間を過ごしました。今後の酪農経営に向け見つめ直す機会となりました。



▲ 黒川支部研修会の様子

「第3回牛乳ひげスマイルコンテスト」の実施について

販売課（普及協会）

昨年に引き続き、ミヤギテレビ放送共催で、「楽しく飲んで、笑顔になろう！」をテーマに「第3回牛乳ひげスマイルコンテスト」を実施しました。

テレビ等で告知・募集した結果、239点の応募があり、応募作品からグランプリ1名、宮城県牛乳普及協会賞5名、ミヤギテレビ賞5名の選出し、グランプリの結果については、2月以降の発表を予定しております。

今回は、応募作品の中から写真の一部をご紹介します。



2024 年度・2025 年度 ミルクキャンペーンキャラクター決定 !!

販売課（普及協会）

11月25日(土)にエル・パーク仙台にて、「ミルクキャンペーンキャラクター選考会」を開催しました。

キャンペーンキャラクターの募集は、SNS広告を中心に告知を行い、応募総数59名の中から、書類審査を経て選出された10名による最終選考が行われました。

栄えある2024年度・2025年度ミルクキャンペーンキャラクターに選ばれたのは、「伊勢 紗也香さん」と「高木 千穂さん」です。

伊勢さんは、料理検定の資格を取得するほど料理を作ることが大好きで、自己ピーアールでは、簡単に作れる牛乳・乳製品レシピの紹介がありました。



【左:伊勢 紗也香さん、右:高木 千穂さん】

高木さんは、「何かを相手に伝えるときは、笑顔・明るさ・あたたかい雰囲気が大切と考えており、笑顔を忘れずしっかり活動していきたい」と話していました。

お二人には、来年度から県内のイベントに参加し、消費者の皆さんへ牛乳・乳製品のPRや酪農の理解醸成活動を行っていただくようになります。今後とも新ミルクレディーとともに牛乳・乳製品に対する意識向上を図れるよう、なお一層の普及活動を行って参ります。



北米コンテナ船情勢

北米西海岸航路は11月上旬以降、出荷が混雑してきています。一部では年末年始の貨物増加でスケジュールの遅れが発生し、乗継航路がある船会社も玉突きで接続船に乗せることができず遅れが発生しています。

輸出業者も11月末の感謝祭前に貨物が増加し、米国内の港湾も混雑しています。輸出業者の工場からシアトル／タコマ港までトラックで1日2往復できるところが、混雑の影響で1往復しかできず、出荷の稼働率も低下しています。

輸入粗飼料

①ビートパルプ

23～24年産ビートの収穫作業は概ね終了し、主産地では天候に恵まれ例年以上の豊作となっています。

直近のビート価格は23年産上級品アルファルファの高値取引や大豆粕価格の上昇もあり、堅調に推移しています。

②アルファルファ

(ワシントン産)

23年産の収穫を振り返ると、1番刈は2～3週間遅れて収穫作業が開始されましたが、カナダの山火事により煙が流入したことで乾燥に時間が掛かり、一部では降雨被害もあったことから産地全体で上級品の発生は限定的となりました。2番刈については、天候に恵まれスケジュールの遅れを取り戻したことで多くの圃場では色目が良い上級品の発生が中心となりました。3・4番刈についてはカナダで山火事が再び発生し、煙が流入したことで乾燥に時間が掛かり、降雨被害もあったことから上級品の発生は限定的となりました。年間を通して上級品の発生が限られたため、米国内酪農家や他国向け需要も上昇しており、23年産の開始時と比較しても産地相場は堅調に推移しています。

(オレゴン産)

産地では例年より1週間程度遅れた6月中旬以降から1番刈の収穫が開始されました。刈取り適期を逃し生育が進んだ圃場もありましたが、上級品中心の発生となりました。2番刈は、1番刈で刈り取れなかった茎が残った圃場もあり、例年よりも色目の鮮やかな品質は限定的となりました。3番刈は降雨の影響で刈遅れや雨当たり品が多く発生しました。産地相場は近隣州の上級品不足の影響で引き合いが増加しているため堅調に推移しています。

③チモシー

(US産)

23年産は作付面積減少に加え、5月下旬の急激な気温の上昇や、収穫期に降雨が複数回発生したため、1番刈は中・低級品中心の発生となりました。また、23年産の価格が下落したことで昨年と比べ半数近くの生産農家が2番刈を行わず換金性の優れる作物に転作を進めました。2番刈の品質は上級品の発生が中心となりましたが、1番刈の上級品が限定的なため主に馬糧向けとして高値で取引されています。

(カナダ産)

主産地南部レスブリッジ地区の1番刈品質は天候に恵まれ、上～中級品中心の発生となりました。中部クレモナ地区の1番刈は山火事の煙による日照不足や乾燥に時間が掛かったことや干ばつにより中級品中心の発生となりました。

④クレイングラス

昨年は高騰したアルファルファのタンパク源代替として、米国内酪農家からの引き合いが強く、内需が産地相場を牽引したことで大幅な値上がりとなりましたが、23年産では水不足の解消、干ばつ状況も緩和されたため相場は軟調に推移しました。23年産は葉量が多く柔らかな良品の発生が中心となりました。

⑤豪州産オーツヘイ

東豪州の収穫作業は11月下旬で終了しました。23年産については生育から収穫までの期間で降雨も少なく天候に恵まれたことで上級品中心の発生となり収量も増加しています。

南豪州の収穫作業は11月下旬で終了しました。南豪州では生育から収穫を通して天候に恵まれたことから上級品の発生が中心となっています。収量については一部の地域で干ばつの影響があり例年よりも減少しています。

西豪州の収穫作業は11月下旬で終了しました。乾燥で単収の減少が懸念されていましたが、まとまった降雨があり収量は回復しています。品質については天候に恵まれたこともあり上・中級品の発生が中心となっています。

初乳給与と寒冷対策について

11月24日に大崎市内で全酪連主催の冬場の子牛向けの研修会がありましたので、内容を紹介します。講師は、全酪連 酪農技術研究所の、西澤成寿さんと小林夏実さんです。

01 初乳給与について

分娩後最初に搾乳される乳が初乳であり、2回目から常乳までは移行乳と呼ばれ初乳は常乳と異なり、初乳は免疫グロブリンを多く含みます。牛は胎盤の構造上、母牛の胎内で免疫グロブリンが移行しないため子牛が免疫を獲得するため免疫グロブリンを多く含む初乳を飲む必要があります。

長年受動免疫の基準とされてきていた血清IgG10g/L以上を目指せ、というのは死亡率低減には有効だが、病気になるかならないかという面では影響があまりなく、疾病率が変わりませんでした。

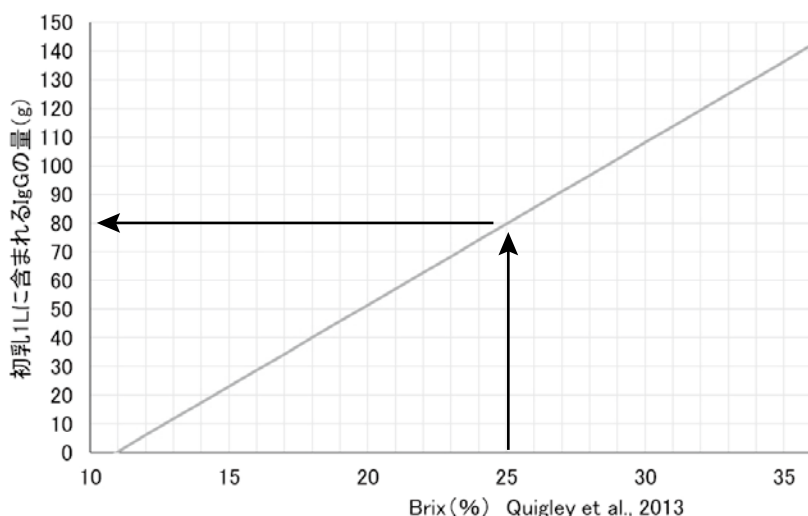
そこで、2020年に約30年ぶりに子牛の受動免疫獲得の基準が改訂されました。これからは一律の目標値でなく、群としては、血清IgGが25g/L以上が40%以上、血清IgGが18.0-24.9g/Lが30%以下、血清IgGが10.0-17.9g/Lが20%以下、血清IgGが10.0g/L未満が10%未満を目指す指標となります。個体としては、血清IgGが25g/L以上が目標となります。

受動免疫獲得のカテゴリー	血清総タンパク濃度 (g/dL)	血清IgG濃度 (g/L)	牛群内での割合 (%)
Excellent	≥ 6.2	≥ 25.0	> 40
Good	5.8-6.1	18.0-24.9	-30
Fair	5.1-5.7	17.9-10.0	-20
Poor(受動免疫移行不全)	< 5.1	< 10.0	< 10

初乳を十分な量を飲ませるためには出生直後の子牛は寒冷ストレスに非常に弱く、子牛を十分に乾かし、温めることが重要となります。温めることにより、胃の中にある羊水が排出され、強い哺育欲が現れます。どんなに遅くても、生後6時間以内には初乳を給与するようにし、十分に温めたりしても哺育意欲がない場合は強制給与などの対策を取りましょう。

初乳に含まれるIgGの量はブリックス計(糖度計)で推定できます。ブリックス計で初乳の乾物%が測定でき、下記グラフのように初乳に含まれるIgG量を推定できます。

個体としては、血清IgGが25g/L以上が目標となります。



●Brix計



ペン型Brix計



初乳専用Brix計 ▶

株式会社アタゴHPより

また、ブリックス値が高い初乳や代用初乳を添加した初乳は固形分が高いため、粘度が高く乳首の穴の大きさを調整(例8mm→12mm)することで、飲みやすくなります。ただその場合、2日目以降の牛には、その乳首を使用してはいけません。

今回の子牛の受動免疫獲得の基準の改定を受け、新しい初乳サプリメントの紹介があり、一般の初乳粉末のIgGレベルの1.5～2倍近い製品(全酪連:エクセレントスタート)を使用し、少量の添加で、初乳のレベルアップが図れます(下記表参照)。



添加方法の一例

- ▶ 300gのIgG給与を目標
- ▶ 3Lの初乳があります
- ▶ Brix計を用いて、初乳のIgG量を推定(Quigley et al., 2013)
- ▶ 初乳サプリメント
:100gのIgGが含まれている
エクセレントスタート(1袋250g)
- ▶ この場合、右表のように初乳サブリを添加すると、300gのIgGを給与することができます

初乳 Brix(%)	初乳1LのIgG 濃度(g/L)	初乳3Lから のIgG量(g)	不足する IgG量(g)	エクセレントスタート 添加量(g)	全固形分 (%)
16	29	86	214	534	28.7
17	34	103	197	492	28.7
18	40	120	180	449	28.7
19	46	137	163	407	28.7
20	51	154	146	364	28.7
21	57	171	129	322	28.7
22	63	188	112	279	28.6
23	68	205	95	237	28.6
24	74	222	78	194	28.6
25	80	239	61	152	28.6
26	85	256	44	109	28.6
27	91	273	27	67	28.6
28	97	290	10	24	28.6
29	102	307	0	0	29.0

02 寒冷対策について

子牛にとっての快適な環境温度は、3週齢までの子牛は15℃～25℃、3週齢以上の子牛は5～25℃となっており、25℃以上になると暑熱ストレスがかかってしまいます。子牛は成牛に比べ体重当たりの表面積が大きく熱を奪われやすく体脂肪が少なく体温維持が難しいです。また、風が直接体にあたり体感温度が低下し、体表が濡れていることにより体温が奪われ、床面からの熱電導により体温が下がりますので、冬期間は注意が必要です。

対策としては、体表からの放熱に対しては、カーフジャケットを着用したり、ヒーターの活用、子牛の体表を汚さないなどが上げられる。防風対策としては、子牛に直接、隙間風があたらないようにしたり、出生直後の子牛についてはタオルを用いてしっかりと乾かすことが重要です。床面からの熱電導に対しては清潔な敷料を十分敷き、子牛が汚れたり濡らさないようにし、乾いた敷料を十分敷くことで子牛の体温低下を防ぎます。

また、環境温度が15℃を下回ると子牛はより多くにエネルギーを必要とするため代用乳の給与量を増加したり、高油脂の代用乳を給与するなどの対応の良いです。

冬場は換気が疎かになりやすくなるが、換気を不十分だと、糞尿から発生する有害なアンモニア等が溜まり、これが喉や気管の粘膜を刺激し、呼吸器系疾患を発症してしまいますので、そのため外気温が低温であっても空気の入替のための換気が必要となります。

以上になりますが、冬期間の子牛の管理の参考になれば幸いです。冬期間は、朝・夕暗くなりやすく、暗いと子牛や敷料の状態が見づらいため、明るい照明は飼養管理面でも重要です。



カーフジャケット+乾燥した敷料



角度を0度に変更したファンと明るい照明



じゃがいものチーズ焼き

Miyagino milk recipe No.5



材料：4人分

じゃがいも……………中4個	コンソメ（顆粒）……………小さじ2
玉ねぎ……………中1個	塩、こしょう……………適量
ブロックベーコン……………200g	マヨネーズ……………適量
オリーブオイル……………大さじ2	ピザ用とろける
にんにく……………1かけ	チーズ……………120g



作り方

- ① じゃがいもを乱切りにし、電子レンジで串が通るまで加熱する。（5分程）
- ② フライパンにオリーブオイル、薄切りにしたにんにくを熱し、にんにくの香りがしてきたら1cm幅に切ったベーコンを表面がカリッとするまで炒める。
- ③ ②に薄切りにした玉ねぎと①を入れ、玉ねぎが透き通ってきたらコンソメと塩・こしょうで味を調える。
- ④ ③を耐熱容器に移し、マヨネーズ、チーズをかけ、オーブントースターで5分ほど焼き、チーズにこんがり焦げ目がつけば出来上がりです。

付け合わせに
もう一品

アボカドサラダ

★材料：4人前

アボカド……………2個	オリーブオイル……………大さじ1(A)
モッツアレラチーズ……………1袋	醤油……………大さじ1/2(A)
ミニトマト……………1パック	わさび……………適量(A)

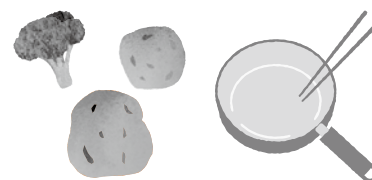
★作り方

- ① アボカド、モッツアレラチーズ、ひとくち大、ミニトマトは半分に切る。
- ② ①のアボカドを電子レンジで20秒ほど加熱する。
（色が変わりにくくなります）
- ③ ドレッシングに(A)を合わせておく。
- ④ アボカド、モッツアレラチーズ、トマトを合わせ、③をかければ出来上がりです。



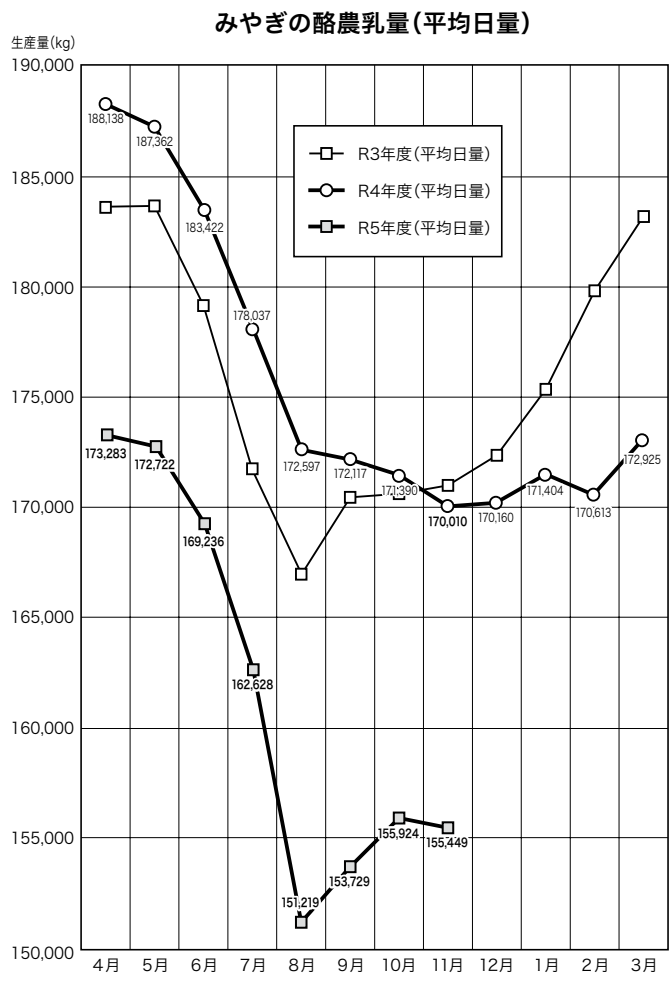
コメント

オリーブオイルで炒める際、輪切り唐辛子を入れてピリ辛になります。
ブロッコリーなどの野菜を入れても美味しくいただけます。



令和5年度生乳生産実績

販売課



令和5年度生乳生産実績(4月～11月 標準進捗率66.85%)
(単位:kg、%)

支 部 名	戸数	バルク乳量	前年同期乳量	前年同期比	生乳出荷目標数量	進捗率
白石・七ヶ宿支部	21	5,578,107.9	5,811,969.5	95.98	8,540,424.5	65.31
蔵王支部	22	5,164,412.0	5,605,889.0	92.12	8,292,107.6	62.28
柴田支部	12	2,491,423.0	2,497,452.0	99.76	3,656,818.4	68.13
伊具支部	13	2,524,055.0	3,039,473.0	83.04	4,391,264.6	57.48
仙台支部	9	2,042,299.4	2,393,134.0	85.34	3,376,791.8	60.48
名取支部	3	347,086.0	463,979.0	74.81	644,325.1	53.87
黒川支部	4	323,084.0	583,322.0	55.39	770,506.3	41.93
大崎支部	17	2,008,985.0	2,167,236.0	92.70	3,166,240.1	63.45
遠田支部	12	6,080,973.0	6,687,845.0	90.93	9,708,527.1	62.64
加美支部	7	1,081,451.0	1,120,095.0	96.55	1,666,432.3	64.90
鳴子支部	6	1,041,025.0	1,174,313.0	88.65	1,706,131.9	61.02
栗原支部	26	3,648,668.0	3,894,983.0	93.68	5,667,710.8	64.38
登米支部	23	4,448,466.0	4,916,081.0	90.49	7,138,972.7	62.31
本吉支部	9	762,439.0	897,750.0	84.93	1,290,700.4	59.07
石巻支部	5	286,438.0	465,185.0	61.58	653,287.6	43.85
豊里支部	10	1,639,249.0	1,682,884.0	97.41	2,509,949.5	65.31
みやぎの酪農	199	39,468,161.3	43,401,590.5	90.94	63,180,190.5	62.47

※戸数は、11月現在の出荷戸数となります。

人事のお知らせ

総務課

区 分	氏 名	旧 職	発 令 日	備 考
正職員	菅原 充	指導課指導係	令和5年12月29日	退職
正職員	今野 道子	登米事業所指導係	令和5年12月29日	退職

理事会通信

総務課

【第8回理事会】

開催日 令和5年11月30日
付議事項 第1号議案 令和5年度上半期決算監査にかかる監事監査報告について
第2号議案 定期賞与(12月期)の支給について

【第9回理事会】

開催日 令和5年12月25日
付議事項 第1号議案 就業規則等の一部変更について

【機 械】

機 械 名	バルククーラー
メーカ－	オリオン
年 式	平成11年購入
容 量	2 t
備 考	価格要相談



【令和5年度 初妊牛幹旋 売 り た し (仙南支所)】

No.	支 部	販 売 者	出生年月日	分 娩 予 定 日	区 分
1	蔵 王 支 部	小 島 一 也	R4. 2. 5	R6. 4. 2	交 雑 種
2			R4. 3. 26	R6. 4. 29	交 雑 種
3			R4. 7. 14	R6. 6. 26	交 雑 種
4	伊 具 支 部	大 槻 彰	R4. 1. 31	R6. 4. 13	ホ ル 性 判 別

〔 編 集 後 記 〕

新年あけましておめでとうございます。
今年の干支は「甲辰」で、「甲」は、優勢であることを表す他、まっすぐに堂々とそそり立つ大木を表おり、「辰」は十二支の中では唯一の架空の生き物、龍（竜）を意味します。

この2つの組み合わせである甲辰には、「成功という芽が成長していき、姿を整えていく」といった縁起のよさを表しているそうです。

発 行 ・・・・・・・・・・・・・・・・

遠田郡美里町北浦字道祖神前16

みやぎの酪農農業協同組合

TEL.(0229)34-2311(代表)